

## 八朔祭屋台シリーズ5

去る九月一日、今年も八朔祭が盛大に行われ、厳しい残暑の中、谷村第一小学校を中心とした祭会場は、祭りの熱気で沸き返っていました。

今年の八朔祭で注目を集めたのは、大名行列や早馬町屋台と並んで、六十数年ぶりに復活した下町屋台の巡行でした。祭会場に二台の屋台が揃った様子は、八朔祭の伝統と賑わいを感じさせ、かつての谷村の繁栄を彷彿させるものとなりました。

今回は、祭りで見られた早馬町と下町の屋台について紹介したいと思います。

八朔祭屋台の創建年代は、飾幕の製作年代等からみて文化年間（一八〇四〜一七）と推定されています。



六十数年ぶりに復活した下町屋台の巡行

屋台の様式・構造は、梁間一間、桁行二間造り、屋根は早馬町屋台が大唐破風平屋根で、下町屋台は軽量化と明かり採りのため、屋根材に「みすず」が用いられています。

駆体は舞台前部と楽屋後部から構成されていて、舞台に擬宝珠高欄がめぐらされ、大屋根に早馬町屋台では鳳凰の懸魚、下町屋台では龍の鬼板と鳳凰の懸魚で飾られています。また、車輪は、車軸の中心棒に梶棒がかさねられる古形式の梶構造で、早馬町屋台が御所車、下町屋台が内輪四つ車形式となっており、側面の腰に格子枠が付けられています。

付祭りとして巡行される屋台には、有名な祇園祭の山鉾、高山祭の屋台など、山鉾や山車の形式を取るもの、関東地方で一般的に見



早馬町屋台

られる大きな人形を乗せた関東型と呼ばれる屋台、秩父夜祭の屋台に見られるように広い舞台を持つ舞台型の屋台などがあります。八朔祭屋台は、これらの内、舞台型屋台に近似しています。

早馬町と下町屋台は、昭和の初めごろを最後に、交通事情などから巡行されなくなり、傷みもひどくなってしまうましたが、早馬町屋台は町の人々の手によって平成元年に、また、下町屋台は平成四年より高山祭屋台保存技術協同組合に復元工事を依頼し、平成七年三月に完成しました。

これら屋台は市の有形文化財に指定され、本市の誇る文化遺産となっています。

教育委員会 社会教育課  
文化振興係

## 第二回

### ふるさと探検隊 参加者募集

第二回のふるさと探検隊を開催します。今回は、尾県郷土資料館の特別展とあわせて行います。日程は次のとおりですので、多数のご参加をお待ちしています。

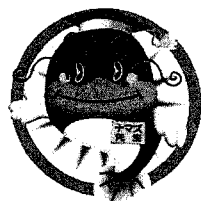
日時 10月25日(土)午前9時  
リニア見学センターに  
集合(小形山)  
日程 リニア見学センター  
タニシ取り  
(小形山の田んぼで行  
います。)

持ち物 尾県郷土資料館  
(昔の遊び大会に参加)  
筆記用具  
※参加は、無料。正午解  
散。雨天中止。

問合先 ふるさと探検隊実行委員  
(43)2946 山本

## 危機管理講演会

地質学の権威である田中先生の講演を聞いて、皆さんも危機管理について、そして自然との共存について考えてみましょう。



記念講演  
「ふるさと都留の  
大地の厳しさと大いなる恵み  
『わたしのまちは大丈夫?』」  
講師 大月短期大学地球科学研究室  
教授 田中 収さん

日時 10月24日(金)  
午後1時30分〜4時  
場所 うぐいすホール  
主催 社団法人 都留青年会議所  
後援 都留市  
問合先 (43)4783 (金子)

## 秋の資料館まつい

尾県郷土資料館特別展「秋の資料館まつい」を開催します。今年は催し物盛りだくさんで行いますので、ぜひ親子そろってのご参加をお待ちしています。

10月25日(土)  
午前 昔の遊び大会  
午後 おたのしみ特別公演

10月26日(日)  
午後 声楽家・雨宮静樹さんによる  
童謡唱歌

特別展示  
干支瀬戸等(エトセトラ)展  
干支に関係するもの(置物・絵など)  
を展示します。

場所 尾県郷土資料館  
時間 午前10時〜午後4時  
問合先 社会教育課 文化振興係